

情報提供

「平成 24 年度被災市町村の特定健診実施結果について」

岩手県環境保健研究センター

I 対象及び方法

1 対象

県内 33 市町村のうち東日本大震災津波被害の大きかった大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、久慈市、普代村、野田村、洋野町の 12 市町村を対象とした。

2 集計したデータ

- ・ 平成 20 年度～平成 24 年度の 5 年間に、6 市町の国民健康保険が実施した特定健診の受診者のデータを集計対象とした。
- ・ 平成 20 年度～平成 23 年度のデータは、いわて健康データウェアハウスに収集したもの、平成 24 年度は実施委託先である公益財団法人岩手県予防医学協会が実施したデータを用いた。
- ・ 市町ごとに集計をしているが、個人を識別不可能にした形でデータ収集しているため、受診者について被災者、非被災者の区別はできない。
- ・ 各年度末日に 75 歳になっている人のデータも含む。

3 集計項目と判定（区分）基準

・ BMI

「やせ」BMI18.5 未満、「普通」BMI18.5 から 24.9、「肥満」BMI25 以上

・ 血圧判定

「正常血圧」～129/～84 mm Hg、「正常高値血圧」130～139/85～89 mm Hg、

「高血圧」140～/90～mm Hg

・ 中性脂肪

「正常」150 mg/dl 未満、「保健指導対象」150 mg/dl 以上 300 mg/dl 未満、「受診勧奨」300 mg/dl 以上

・ HDL コレステロール

「正常」40 mg/dl 以上、「保健指導対象」40 mg/dl 未満 35 mg/dl 以上、「受診勧奨」35 mg/dl 未満

・ LDL コレステロール

「正常」120 mg/dl 未満、「保健指導対象」120 mg/dl 以上 140 mg/dl 未満、「受診勧奨」140 mg/dl 以上

・ AST(GOT)

「正常」31U/I 未満、「保健指導対象」31U/I 以上 61U/I 未満、「受診勧奨」61U/I 以上

・ ALT(GPT)

「正常」31U/I 未満、「保健指導対象」31U/I 以上 61U/I 未満、「受診勧奨」61U/I 以上

- ・ γ -GTP

「正常」 51U/I 未満、「保健指導対象」 51U/I 以上 101U/I 未満、「受診勧奨」 101U/I 以上

- ・ 血圧を下げる薬の服薬状況
- ・ インスリン注射又は血糖を下げる薬の服薬状況
- ・ コレステロールを下げる薬の服薬状況

※ 空腹時血糖と HbA1c は、年度ごとのデータのばらつきが大きいため経年的な比較はできないと判断し、今回は分析を行っていない。

4 分析方法

各健診項目について、男女別に「正常」の人数と「保健指導対象」と「受診勧奨」の和（有所見者）の人数について集計し、平成 22 年度と平成 24 年度で有所見者に有意な差が認められるかどうか検証するため χ^2 検定を行った。

さらに、「40～49 歳」、「50～59 歳」、「60～75 歳」の年齢区分についても同様に χ^2 検定を行った。

III 分析結果

1 受診者の状況

- ・ 年度ごとの受診者数は、大船渡市、釜石市、大槌町、宮古市、山田町の 5 市町では平成 23 年度が最も少ない。（同年度の受診者数は、釜石市、大槌町、宮古市、山田町では平成 20～22 年度の受診者数のおよそ 70%、大船渡市ではおよそ 40%であった。）
- ・ 男女比は、各市町とも 4：6 で女性が多かった。
- ・ 年齢階級別では、各市町とも 60～75 歳の受診割合が最も多く、全体の 70～80%を占めていた。

2 健診結果

平成 23 年度の受診者数が著しく少ない市町があることから、平成 22 年度のデータと平成 24 年度のデータを比較し、平成 24 年度が平成 22 年度に比べどのように変化したかを次に示した（表 1）。

1) 健診項目について

- ・ BMI25 以上の有所見者で有意な増加が認められたのは陸前高田市男女と釜石市の男性で、うち陸前高田市の男性では、60～75 歳で有意な増加がみとめられた。全体では認められなかったが、山田町の女性 50～59 歳で有意な増加がみられた。
久慈市の女性では有意な減少となった。
- ・ 血圧判定では大船渡市の男性、陸前高田市の男性、釜石市の女性、久慈市の男女、洋野町の男女で有意な増加が認められた。年齢階級別では 3 市町の 60～75 歳での有意な増加がみられた。
有意な減少が認められたのは、大槌町の女性、山田町の男女、普代村の男女で、いずれの町村でも 60～75 歳の減少が認められた。
- ・ 中性脂肪と LDL コレステロールがともに有意な増加がみられたのは、陸前高田市の男女、釜石市の男性、洋野町の男性で、60～75 歳でも有意な増加が認められた。
HDL コレステロールと LDL コレステロールともに有意な増加がみられた市町はなかった。
LDL コレステロールのみ有意な増加が認められたのは、大船渡市の男女、宮古市の男性、岩泉町

の男女、田野畑村の男性、久慈市の女性、野田村の男性、洋野町の女性であった。大船渡市の男女については、男性の 50～59 歳を除く、全ての年齢階級で増加が認められた。

有意に減少していたのは、中性脂肪では大槌町の男性 40～49 歳、宮古市の女性 60～75 歳。

HDL コレステロールでは釜石市の男性 60～75 歳と宮古市の女性 50～59 歳であった。

- AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP とも有意な増加がみられたのは釜石市の男性で、どの項目でも 60～75 歳の年齢階級で増加がみられた。

陸前高田市男性は AST(GOT)と γ -GTP、宮古市の男性と洋野町の男性は、ALT(GPT)と γ -GTP で有意な増加が認められた。

2) 服薬状況

- 血圧を下げる薬の服薬状況では、有意の増加が 5 市町でみられた。
- インスリン注射又は血糖を下げる薬の服薬状況では、陸前高田市の男性と山田町の男性に有意な増加がみられた。
- コレステロールを下げる薬の服薬状況では、山田町の女性で有意な増加が、大船渡市の女性と宮古市の女性で有意の減少がみられた。

3 まとめ

- 健診項目では血圧判定、脂質検査が、年齢階級別では 60～75 歳での有意な増加が目立った。
- 男女別の特徴としては、肝機能検査項目において 4 市町の男性のみ有意な増加が認められている。
- 陸前高田市の男性、釜石市の男性で 6 項目、洋野町の男性で 5 項目について有意な増加が認められた。
- 今回の検討は、同一人について受診結果を経年的に観察したものではないことから、結果については慎重な解釈が必要であると考えられた。